



山川出版社は歴史総合教科書を3種発行いたします

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

歴史総合

わたしたちの

歴史

日本から世界へ

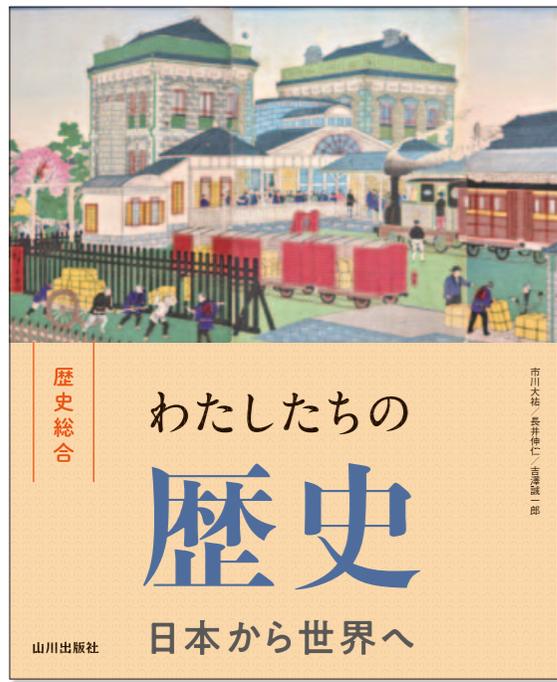
山川出版社

市川大祐／長井伸仁／吉澤誠一郎

令和4年度用
(2022年度用)

山川出版社
内容解説資料

この資料は、
令和4年度用高等学校教科書の
内容解説資料として
一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に
則っております。



わたしたちの歴史

日本から世界へ

歴総709

AB版 182頁

[代表者]

市川大祐 北海学園大学教授 長井伸仁 東京大学准教授 吉澤誠一郎 東京大学教授

[著作者]

板垣 暁 北海学園大学教授	中山拓憲 神奈川県立湘南高等学校教諭
守川知子 東京大学准教授	福本 淳 栄光学園中学高等学校教諭
渡邊宏明 浅野中学校・高等学校教諭	丸山優介 東京都立翔陽高等学校教諭
澤野 理 神奈川県立逗子高等学校教諭	安田智昭 三輪田学園中学校・高等学校教諭
津野雄彦 東京都立戸山高等学校教諭	株式会社 山川出版社

Message



長井伸仁

ながいのぶひと
東京大学准教授

かつて、「世界史は必ずしも幸福の地盤ではない。幸福な時期とは世界史における空白なページである」と述べた思想家がいました。たしかに、歴史の教科書には「空白なページ」などありませんし、書かれているできごとには戦争、経済危機、さらには疫病など、不幸というほかないことがめだちます。

とはいえ、そうした苦難を人類がなんとか乗り越えてきたのも事実であり、歴史の教科書はそのような視点からも読むことができます。危機のときに人々がどのように対応したのか、そこからどのような教訓を得たのか、そして、つぎに同じようなことが起こったときにその教訓を生かされたのかどうか、などが浮かび上がってくるはずですが。現実には、解決されないまま課題として残っている問題は数多くあり、誰もか今後、そうした課題になんらかのかたちで向きあう必要があります。この教科書は、そのようなときに過去のできごとを思い出してもらえればと願いながら、執筆しました。事項はしほりつつも重要なことは網羅し、また思い出しやすい記述になっているはずですが。

教科書のどのページを開いても様々な人物が登場します。生没年や業績とともに詳しく説明される人から、写真の片隅に写る名もなき人まで、だれもが「歴史上の人物」です。不幸や苦難をもたらした人もいれば、そこに巻き込まれ流されつつも懸命に生きようとした人もいます。歴史の教科書は、そのような有名無名の人々の記録でもあります。

今を生きる私たちが、もしかしたらはるか未来の教科書の片隅に写って、思いを馳せられているのかもしれませんが。そのときでも、教科書に「空白なページ」はないでしょうが、「幸福な時期」がこれから増えていくことを願っています。



澤野 理

さわのおさむ
神奈川県立逗子高等学校教諭

私たちの生きている現代の世界は、ある日突然にあらわれたものではありません。過去におきた様々なできごと—それは人によるできごとだけでなく自然の力によるできごともあります—のうえに現代の世界があるのです。歴史を学ぶということは、過去のできごとについて学ぶことを通じて、現代の世界の成り立ちや諸問題を見つめ、未来をよりよい世界とするための道筋を考えることといえるでしょう。

歴史総合は、現代の世界とのつながりや影響の強い近代・現代の歴史について、日本の歴史と世界の歴史を同じ科目で学びながら、それぞれのできごとを比べたり、おたがいのつながりや影響を考えたりすることをめざしています。そのためには、単純に歴史用語を暗記するだけではなく、それぞれのできごとについて、「いつ」「どこで」「どのようにして」、そして「なぜ」というような「問い」を自分から発する姿勢をもちながら学習することが重要となります。とはいえ、誰もがいきなり自分なりの「問い」を立てるといことは難しいでしょう。この教科書では、高校生のみなさんが様々な「問い」をみずから立てられるようになることをめざしてつくられています。最初は、教科書の問いについて考えるだけで精一杯となるかもしれませんが、学習を進めていくにしたがい、自分なりの「問い」や答えを考えられるようになるでしょう。

この教科書での学習を通じて、現代の世界について主体的に考え、そして、よりよい未来のために行動できる人間となるための基礎力を高めてほしいと願っています。

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

1 厳選された見開き2ページ 完結の47テーマ

- 歴史総合を学ぶにあたって、これだけは押さえてほしい！という47テーマ(1テーマは見開き2ページ完結)で構成しています。
- テーマを通して本文の分量を統一し、図版などの資料や問いかけの点数を精選しています。2単位で余裕をもった授業展開ができるので、アクティブラーニングなども取り入れやすいです。
- シンプルな構成と内容で、ご専門ではない先生にも扱いやすい教科書となっています。

2 現場目線の楽しい工夫

- 各テーマを高校現場で教える先生が執筆し、授業で活用しやすい要素を多く取り上げています。
- 楽しく学べるやさしい文章を心がけました。地図や写真など図版も大きめに掲載しました。
- 巻末の用語解説では生徒にとってなじみが薄いと思われる用語を取り上げて解説しています。

3 身近な歴史から 世界をみる

- 身近な話題が豊富。学校、給食、映画、野球、SDGsなど、生徒にとって身近に感じられるものを随所に盛り込んでいます。
- 歴史の流れやできごとのつながりを重視し、平易でわかりやすい記述を心がけました。

「近代化への問い」の授業例をあげました。ご参照ください →p.6-7

小社ホームページに「歴史総合教科書」特設サイトを開設しました。
2～3分程度の教科書紹介動画もございますので、ぜひご覧ください。

山川HP
歴史総合
特設サイト



ICT教育を
サポート
します

本書に掲載している計10点の2次元コードは、NHK for Schoolの関連動画へとリンクします。生徒の理解を促進し、主体的な学びを促します。

教師用指導書付属データには授業用スライドや確認テストなどのデジタルコンテンツを収録し、授業準備をサポートいたします。 →p.22

さらにデジタルコンテンツをご使用される際には、9,000点以上の地歴公民コンテンツを定額制でご利用できる「山川&二宮ICTライブラリ」をぜひご利用ください！ →p.23

全体を3部構成、47テーマに分け、1テーマを見開き2ページとし、標準単位数2単位で無理なく学習できる教科書となっています。

地理的な見方や考え方を養えるよう、巻頭資料として、「歴史の舞台」を設けました。

目次

巻頭資料 歴史の舞台

- 東アジア ——— 4
- 南アジア・東南アジア ——— 6
- 西アジア ——— 8
- ヨーロッパ ——— 10
- アメリカ大陸 ——— 12
- アフリカ大陸 ——— 13

- 歴史の扉 1 歴史と私たち 学校の歴史 ——— 14
- 2 歴史と資料 学校給食の歴史 ——— 16

第1部 近代化と私たち

近代化への問い ——— 20

①交通と貿易／②産業と人口／③権利意識と政治参加や国民の義務／④学校教育／⑤労働と家族／⑥移民

- 1 18世紀の世界とアジア ——— 26
 - 考えてみよう！ 琉球と蝦夷地 ——— 28
- 2 産業革命 ——— 30
- 3 アヘン戦争と日本 ——— 32
- 4 日本の開国 ——— 34
 - 考えてみよう！ 江戸時代 ——— 36
- 5 日本開国期の国際情勢 ——— 38
- 6 開国後の日本社会 ——— 40
- 7 市民革命と国民統合 ——— 42
 - 考えてみよう！ 国民国家と多民族国家 ——— 44
- 8 明治維新 ——— 46
- 9 富国強兵と文明開化 ——— 48
- 10 日本の明治初期の外交 ——— 50
- 11 大日本帝国憲法の制定 ——— 52
- 12 日本の産業革命と日清戦争 ——— 54
- 13 帝国主義 ——— 56
- 14 日露戦争と韓国併合 ——— 58

いまの私たちにつながる課題 ——— 60

- 【自由・制限】 どちらがお得？ 自由貿易と保護貿易
- 【対立・協調】 意見がぶつかるのも前に進むため？

第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち

国際秩序の変化や大衆化への問い ——— 66

①国際関係の緊密化／②アメリカ合衆国とソ連の台頭／③植民地の独立／④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／⑤生活様式の変化

- 1 大衆運動の芽ばえ ——— 72
- 2 第一次世界大戦 ——— 74
- 3 第一次世界大戦と日本 ——— 76
- 4 ロシア革命とその影響 ——— 78
- 5 社会運動の広がり ——— 80
- 6 国際協調 ——— 82
- 7 アジアの民族運動 ——— 84
- 8 大量生産・大量消費社会 ——— 86
 - 考えてみよう！ 大衆文化としてのスポーツ、野球 ——— 88
 - 考えてみよう！ 大衆文化としての映画 ——— 90
- 9 世界恐慌 ——— 92
- 10 独裁勢力の台頭 ——— 94
- 11 日本のアジア侵出 ——— 96
- 12 第二次世界大戦 ——— 98
- 13 第二次世界大戦と日本 ——— 100
- 14 第二次世界大戦の終結 ——— 102
- 15 戦後国際秩序 ——— 104
- 16 冷戦の始まり ——— 106
- 17 日本の戦後改革と日本国憲法 ——— 108
- 18 日本の独立 ——— 110

いまの私たちにつながる課題 ——— 112

- 【統合・分化】 1つの民族＝1つの国家？
- 【平等・格差】 歴史のなかで女性は？

2次元コード

沖縄の文化 28 / アイヌの人々 29 / 蒸気機関の仕組み 30 / 関東大震災の様子 93 / 東京大空襲の様子 103 / 原子爆弾 103 / 新幹線 135 / 福岡県での公害 135 / 政府開発援助 143 / 国連平和維持活動 152

(すべてNHK for Schoolの動画コンテンツです)

※本書掲載の2次元コードからインターネットを使用した学習ができます。2次元コードの使用にあたって使用料はかかりませんが、通信料はかかります。インターネットを使用する際には、先生の許可を得たうえで使用してください。また、使用にあたっては個人情報の扱いに十分注意してください。

本文内容をより深く考察できるよう、「考えてみよう！」と題した特集ページを設けました。

第3部 グローバル化と私たち

グローバル化への問い ——— 118

①冷戦と国際関係／②人と資本の移動／③高度情報通信／④食料と人口／⑤資源・エネルギーと地球環境／⑥感染症／⑦多様な人々の共存

- 1 第三世界の登場 ——— 126
- 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 ——— 128
- 3 冷戦の展開 ——— 130
- 4 55年体制と安保闘争 ——— 132
- 5 高度経済成長の光と影 ——— 134
- 6 ベトナム戦争とアメリカ ——— 136
- 7 経済構造の変化 ——— 138
- 8 日本の経済大国化 ——— 140
 - 考えてみよう！ 日本の政府開発援助 ——— 142
- 9 アジアの経済成長 ——— 144
- 10 社会主義の停滞と新自由主義 ——— 146
- 11 冷戦の終結 ——— 148
- 12 冷戦後の地域紛争 ——— 150
 - 考えてみよう！ 国連平和維持活動 ——— 152
- 13 地域統合 ——— 154
- 14 現代世界の諸課題 ——— 156
- 15 日本の諸課題 ——— 158

いまの私たちにつながる課題 ——— 160

- 【対立・協調】 激動の時代、命をかけて平和をつくった人々！
- 【開発・保全】 地球は、そして私たちは、どこへ向かうのだろうか？！

- 用語解説 ——— 164
- 年表 ——— 168
- 索引 ——— 174

- 現代の世界 ——— 表見返し
- 現代の日本 ——— 裏見返し

歴史の用語に限らず解説が必要と思われる用語については、巻末に用語解説を設けて解説しています。



適宜2次元コードを配置し、動画を参照することでより深い学びを促します。

凡例

【テーマ全体の問い】

18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

このテーマを学習するなかで、考えたい事柄を示している。

【資料の問い】

このデモに参加しているのは、どのような人々だろうか？

写真やグラフ、文字資料などに関連して、考えたい事柄を示している。

【用語解説】

★本書を読む際に役立つように、本文中に印をつけた語句は、巻末に「用語解説」を設けて解説した。

【西暦と世紀】

西暦は、イエス＝キリストが生まれたとされる年を紀元元年として、年数を数えている。世紀は、西暦の100年をひとまとまりにして年代を区切るあらわし方で、たとえば、18世紀は1701年から1800年までを指す。

【年代の表記】

日本の歴史に関わる西暦年は、元号(年号)を併記した。明治5年までは日本暦と西暦とは1カ月前後の違いがあるが、日本に関する年月は日本暦をもとにし、西暦に換算しなかった。改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。たとえば、慶應4年は9月8日に改元して明治元年となったが、この年のことはすべて1868(明治元)年とした。

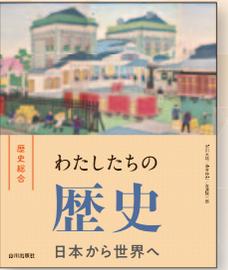
【国名表記】

国名は、つぎのように表記する場合がある。日本：日 中国：中 韓国：韓 アメリカ：米 ロシア：露 イギリス：英 フランス：仏 ドイツ：独 イタリア：伊 オランダ：蘭 ソヴィエト社会主義共和国連邦：ソ

【文字資料】

文字資料については、原則として現代語訳や日本語訳としたが、一部、原文をそのまま掲載したものもある。文字資料の引用はできるだけ必要な部分にとどめ、適宜、省略や表記の変更などをおこなった。

授業では項目1つを選択し、資料を読みとく技術を培いながらこれから学ぶ「近代化」について、疑問や課題意識を持つようにします。



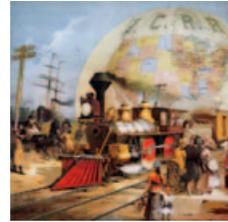
近代化への問い①

①～⑥のテーマのなかから選んで、取り組んでみよう。

交通と貿易

18世紀のイギリスで始まった産業革命は、交通機関の発達もうながした。交通機関が発達していった理由や、その影響について、みていこう。

新しい交通機関の発明



1 蒸気機関車

運河開通以前には陸上交通は、……100ポンド^{*1}の重さのものを1マイル^{*2}運ぶのに1セント^{*3}かかった。そこでコムギ1バレル^{*4}が市場に出して5ドルするとすれば、そのコムギを300マイル運ぶ運賃は5ドル以上になったであろう。しかし鉄道によるとシンシナティからニューヨークまで1ドルで運ぶことができる。

*1 1ポンド=約453グラム *2 1マイル=約1.6キロメートル
*3 1ドル=100セント *4 1バレル=容量をはかる単位で、はかるもの種類や国によって数値は変化する。
(平凡社編集部編『西洋史料集成』)



3 アメリカ合衆国北東部の鉄道網

2 蒸気機関車関係の資料

1の絵は、蒸気機関車を利用した新しい交通機関ですね。

2によると、鉄道によってコムギの輸送費が（A：高くなった／安くなった）ことがわかります。

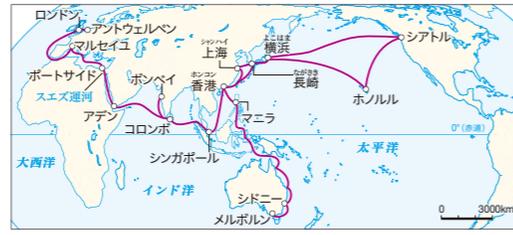
ということは、鉄道は（ B ）にも活用されたと考えられますね。

（ A ）や（ B ）に当てはまる選択肢や言葉は何だろう？

「近代化への問い」では学習指導要領で取り上げられている「交通と貿易」「産業と人口」「権利意識と政治参加や国民の義務」「学校教育」「労働と家族」「移民」の6項目を掲載しています。

日本における新しい交通機関の発達

1872	新橋と横浜のあいだに最初の鉄道が開通する
1881	日本鉄道会社が設立される
1885	日本郵船会社が設立される
1889	東海道線（東京～神戸）が全通する
1891	日本鉄道会社が上野～青森に鉄道を全通させる
1893	日本郵船会社がボンベイ（インド）への航路を開く
1896	日本郵船会社がアントウェルペン（ヨーロッパ）、シアトル（北アメリカ）、メルボルン（オーストラリア）への航路を開く
1906	鉄道国有法が制定される



5 日本郵船会社のおもな定期航路(1896年)

4 日本における交通機関の発達

4をみると、日本でも（C：明治維新／第一次世界大戦／第二次世界大戦）以降、新しい交通機関が普及してきますね。

最初の国際航路がインドへの航路となったのは、なぜでしょう？

この頃のインドは、（D：綿花／生糸／アヘン／茶）の生産地として知られていました。

欧米への航路は、日本で生産された（E：綿花／生糸／アヘン／茶）の輸出のために開かれたのでしょうか？

（ C ）から（ E ）に当てはまる選択肢は何だろう？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめてみよう。

●本時の目標

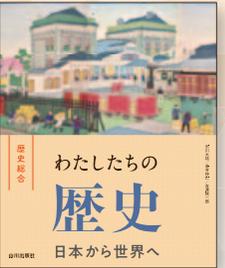
「交通と貿易」を切り口に、近代化に伴う生活や社会の変化について考察し、生徒自ら問いを表現する。

	学習内容	学習活動	評価
導入 ⑤分	中学校の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校で、「産業革命」について習ったことを自由に発言させ、既習内容について確認する。 ●本時の中心が交通の発達から近代化について考えていくことであることを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆イギリスを中心とした欧米と日本に分けて、考えられたか。（思考力・表現力・判断力）
展開A ②0分	「新しい交通機関の発明」について、グループワークで資料の読み取りを行わせ、空欄補充や答え合わせを通じて、対話的な深い学びを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ●1と3の図を確認させるとともに、2の資料文を読ませる。 ●4人で1グループとし、会話文に沿って、選択の問いAと空欄に入る語Bを考えさせる。 ●各自ノートにA・Bの答えと、Bの根拠を書き出させる。 ●Aの答え合わせを行うとともに、グループごとにBの答えを黒板に書かせ、指名したグループに、その答えとなる根拠を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆話し合いに積極的に参加したか。（主体的に学習に取り組む態度） ◆資料を読み取って、答えを考えられたか。（知識・技能） ◆なぜ空欄にその言葉が入るか説明できたか。（思考力・表現力・判断力）
展開B ①5分	「日本における新しい交通機関の発達」について、グループワークで資料の読み取りを行わせ、空欄補充や答え合わせを通じて、主体的な深い学びを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ●4の年表と5の図を確認させる。 ●グループ内で、会話文に沿って、選択の問いC～Eを考えさせる。 ●各自ノートにC～Eの答えを書き出させる。 ●C～Eそれぞれ、挙手させた上で、解答させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆話し合いに積極的に参加したか。（主体的に学習に取り組む態度） ◆資料（年表）の読み取りと既存の知識で、答えを考えられたか。（知識・技能） ◆積極的に、授業に参加し、答えを表明できたか。（主体的に学習に取り組む態度）
まとめ ①0分	問いを作り、今後の学習内容を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ●この授業で、気づいたことやもっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめ、グループ内で、互いに発表し合うことで共有させる。 ●産業革命と、交通・貿易の発展がどのような結びつきがあるのか確認し、教科書p.30、p.54を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史に関する疑問を言葉で表現できたか。（思考力・表現力・判断力）

資料を読み解いたり、疑問を設定したりするヒントとなるよう、それぞれの項目にキャラクターによる会話文等を設けました。

テーマを通して本文の分量を統一し、図版などの資料や問いかけの点数も精選して、シンプルなレイアウトとしています。

図版、地図、表はできる限り大きくし、見やすくしました。



2 中国の都市のにぎわい 中国では、河川や運河を利用した輸送網が発達し、都市では活発な商取引がおこなわれていた。



各テーマの冒頭にはテーマを理解するための発問を付し、本文を読むうえでの視点や考えたい事柄を示しました。

解説が必要と思われる用語については、★マークをつけ巻末の用語解説で解説しています。

18世紀の世界とアジア



3つの陶磁器を比べて、相互の関係について考えてみよう!

3 陶磁器の交流 上から、中国の景德鎮でつくられた陶磁器、西洋風の絵付けがほどこされた中国の陶磁器、ドイツのマイセン焼。上：五島美術館蔵

18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか?

1 豊かなアジアへのあこがれ 18世紀のアジアでは、西から順にオスマン帝国・ムガル帝国・清などが栄え、経済や文化が発達していた。とくにインドから中国にかけての地域は、綿織物・茶・陶磁器などの世界商品を生産していた。このうち、インド産の綿織物はヨーロッパで使われるだけでなく、アフリカで奴隷貿易の対価としても用いられる重要な商品であった。また、中国産の茶を陶磁器で飲む習慣は、当時のイギリスで上・中流階級のたしなみとなっていた。

これらの商品を手に入れるために、ヨーロッパ諸国は、東インド会社という特許会社を設立するなどして、アジアへ進出したが、東南アジア島嶼部やインド沿岸部を除くと、植民地にするのは容易ではなかった。とくに清は、17世紀後半に即位した康熙帝以来、3代約130年にわたる繁栄の時代にあり、ヨーロッパ諸国に対してキリスト教布教の禁止や貿易の統制をおこなっていた。中国に渡った宣教師らの報告を通じて、ヨーロッパにもたらされた中国の政治体制や文化は、ヨーロッパの思想家に大きな影響を与えた。

2 ヨーロッパ諸国の海外進出 ヨーロッパ諸国は、16世紀頃から商品を取引するため、海外へ進出しはじめ、たがいに植民地獲得競争を繰り広げた。その結果、18世紀に入る頃までには南北アメリカ大陸が植民地化された。また、アフリカ西海岸に拠点を設けた奴

隷貿易もおこなわれ、大西洋三角貿易と呼ばれる体制が成立した。ヨーロッパ諸国の競争は、18世紀後半にイギリスの勝利で終わった。しかし、1783年にアメリカ合衆国がイギリスから独立し、その影響を受けて、19世紀前半にはラテンアメリカ諸地域も独立を達成した。そのため、ヨーロッパ諸国は、新たな進出先を求める必要にせまられていた。

3 日本・琉球・蝦夷地 1603(慶長8)年に成立した江戸幕府は、17世紀半ばまでにキリスト教を禁じ、日本人の海外渡航や海外に居住する日本人の帰国も禁じた。さらに、オランダを除くヨーロッパ船の来航を禁止して貿易を統制した。こうした状態は、のちに「鎖国」と呼ばれた。しかし、幕府はいわゆる「四つの窓口」を通じて海外との交流を続けており、その情報をもとに同時代の国際情勢を把握した。幕府が貿易を統制すると、それまで輸入品であった綿織物・茶・陶磁器・砂糖などは日本国内で生産されるようになった。また、新田開発などによって農業生産ものびた。これらを背景に、日本では江戸・大坂・京都の三都が生まれ、三都を中心に全国市場も形成された。

15 15世紀に成立した琉球王国は、明・清の冊封国としての立場をとり、中継貿易で栄えていた。しかし、17世紀に薩摩藩の侵攻を受けてからは、中国に形式的に服属しながらも、日本の支配を実質的に受けるようになった。 20 蝦夷地(現在の北海道)は、まだ日本の領域としては把握されていなかった。蝦夷地南端の松前をおさめていた大名は、先住民のアイヌとの交易を通じて蝦夷地の物産や中国東北地方の物産を入手していた。



4 江戸時代の対外交渉 江戸時代の日本は、長崎・対馬藩・薩摩藩・松前藩を窓口として、海外と交易をおこなった。また日本は、清と正式な国交をもたなかったが、長崎で中国の商人との取引を許したほか、オランダ・琉球・朝鮮を通じて交易をおこなった。

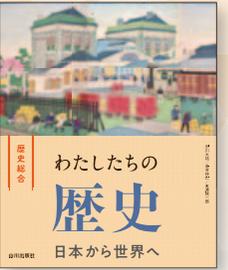
5 18世紀のヨーロッパ人の中国観 中国の政治に対して批判的な意見がヨーロッパではかなり広く存在するのだが、私は逆に、中国旅行記などによって、その政体が発明で明確な法律にもとづいていて、その法を皇帝が遵守させるとともに、皇帝自身も遵守していると理解するにいたった。(ケネー「中国の専制政治」/大野英二郎「停潮の帝国」)

ケネーは、当時の中国(清)を、どのようにみていたのだろうか?

本文は主述のつながりや前後の文のつながりを重視し、できるだけ平易かつ簡潔な叙述となるよう心がけました。

適宜、図版や地図、表などの資料にアプローチするための簡単な問いかけを付しています。

第1部のまとめのページです。過去の人々が課題に対してどのような取り組みを行ったかを資料を読み解きながら振り返り、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えます。学習指導要領の観点から、第1部では「自由・制限」「対立・協調」を取り上げました。



いまの私たちにつながる課題 自由・制限

どっちがお得？ 自由貿易と保護貿易

●自由貿易と保護貿易

貿易には、大きく分けて自由貿易と保護(制限)貿易という2つの形態がある。これらの形態は、歴史上、どのような国で、どのようなときに、選択されたのだろうか。まずは、自由貿易と保護貿易の特徴を整理してみよう。

1 自由貿易と保護貿易の違い

自由貿易=国家が貿易に介入しない
→市場の動きに任せ自由な取引がおこなわれる
保護貿易=国家が貿易に介入して自国の産業を保護・振興する
例：関税や輸入数量制限などにより輸入を制限する
輸出奨励金などにより自国製品の輸出をあと押しする

Q1 1から、自由貿易を選ぶ国と保護貿易を選ぶ国には、どのような違いがあるといえるだろうか？

Q2 ①1円でも安い商品を買いたい人にとって、自由貿易はどのような意味をもつだろうか？
②他国より優れた製品の開発を進めている人や国にとって、保護貿易はどのような意味をもつだろうか？

工業や商業が発達している国と、そうではない国との違いに着目すると、どうだろうか？

●中国(清)とイギリス



2 清の皇帝に謁見するマカートニー

2の絵は、1793年にイギリスから派遣されたマカートニーが清の皇帝に謁見して、貿易の改善を求めている様子を描いたものである。

Q3 ①イギリスは、清からおもに何を輸入していたのだろうか？
②イギリスは、清へ何を輸出したかったのだろうか？
③イギリスは、清に対してどのようなことを求めたのだろうか？
④清は、なぜイギリスの要求を受け入れなかったのだろうか？
⑤交渉に失敗したあと、イギリスはどのような手段で貿易の損失をおさなおうとしたのだろうか？

32~33ページに書かれていることも参照してみよう！

●19世紀後半のアメリカ合衆国

自由貿易か保護貿易かの選択をめぐることは、国内でも意見が異なることがある。このことを、南北戦争にいたるまでのアメリカ合衆国の状況をまとめた3から5のグラフと絵から考えてみよう。



4 南部の風景



5 北部の風景

4と5の絵は、それぞれどのような様子を描いたものであるかに注目しよう！

Q4 つぎにあげた南部・北部それぞれの主張にある(A)から(D)に当てはまる言葉を、3から5を参照して考えてみよう！

南部の主張

保護貿易で(A)からの輸入を制限すると、彼らは、報復として、私たちのつくった(B)を輸入しなくなるかもしれない。それに、人口の少ない南部では、(C)は貴重な労働力でもあるんだ。

北部の主張

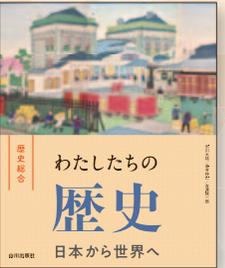
自由貿易で(A)からの安い(D)の輸入を野放しにすると、私たちの工場の経営が危なくなる。それに、(C)を解放すれば、私たちは安価な労働力を獲得できるんだ。

貿易以外の点では、南部と北部の考え方には共通点もみられるようだ。それは、どのようなことだろうか？

Q5 「自由貿易を選択するか、保護貿易を選択するか」ということをめぐって、国家間や国内の地方間で意見が異なるという問題は、現代の社会でもみられるだろうか？ あるとしたら、どのような点が問題となっているのだろうか？

これまでの学習を通して、身近な現代の課題の解決を視野に入れて構想できるようにしています。

「考えてみよう!」と題した特集ページを7つ設け、本文の内容をよりいっそう深く考察できるよう、重要なテーマを別途叙述しています。



考えてみよう!

大衆文化としての映画



1 浅草の映画街 関東大震災(→p.93)のあと、区画整理された浅草には多くの映画館や劇場が建てられた。写真は1930年代の様子。



2 「ラ=シオタ駅への列車の到着」 リュミエール兄弟により、1895年に上映された短編映画。スクリーンに映った列車がせまってくると、驚いて逃げ出す観客がいたといわれる。

3 チャップリン 「モダン・タイムス」「独裁者」など、社会風刺を取り入れた喜劇映画を多数発表した。



4 映画館の前に集まった人々(1920年代、ニューヨーク)



5 「白雪姫」 デズニー(1901~66)によるハリウッド初の長編アニメーション映画で、はじめて世界に配給されたアニメーション映画でもあった。



6 西部劇 アメリカが北アメリカ大陸の西へと領土を広げていった時代や、そこで活躍した人々を描く映画は西部劇と呼ばれ、数多く製作された。写真は1939年に公開された「駅馬車」で、町と町を結ぶ駅馬車に乗りあわせた人々の人間模様と、駅馬車を襲う先住民との戦いを描いた。



8 「オズの魔法使い」 アメリカの児童文学を原作として製作された。当時はまだ珍しかったカラーフィルムを使用するなど、製作には多額の資金がかかった。

9 「意志の勝利」 1934年、ドイツのニュルンベルクでおこなわれたナチ党の党大会を記録した映画。ナチ党のよいイメージをアピールしようと、様々な演出が用いられた。



7 「国民の創生」のポスター クー=クラックス=クランが描かれている。



大衆文化のなかで発達した映画は、私たちの社会にどのような影響を与えたのだろうか?

映画の発明と広がり

映画は、フランスのリュミエール兄弟やアメリカ合衆国のエディソンらによって発明された。当時の映画は音声がなく、言語の違いが大きな問題とならなかったため、国境をこえた技術の交流が盛んにおこなわれた。第一次世界大戦が始まる頃までには、様々な国で映画がつくられるようになった。

アメリカにも多くの映画が輸入され、移民や労働者などの娯楽となった。1910年頃には、アメリカ西海岸に映画の街ハリウッドが建設されはじめ、徐々に映画産業の中心的役割を担うようになっていった。

日本でも映画は人気を得て、1903(明治36)年には浅

草に日本最初の常設映画館が開業した。

アメリカ合衆国と映画

第一次世界大戦が始まると、アメリカはヨーロッパなどに資金の貸出などをおこなって利益をあげ、経済的に急成長した。アメリカ映画の製作数は大幅に増加し、世界中にアメリカ映画が輸出されるようになった。

第一次世界大戦後は、ヨーロッパの監督や俳優がハリウッドにまねかれたこともあり、アメリカの映画産業は大きく成長した。映画は多くの人々に親しまれ、チャップリンなどのスターと呼ばれる俳優たちが注目を集めた。

映画が人々の娯楽として定着していくにつれて、映画の社会への影響力も強まった。たとえば、1915年に公

開された「国民の創生」では、南北戦争が描かれるなかで、黒人は悪役として登場した。映画では白人優越主義の秘密結社クー=クラックス=クラン(KKK)が英雄として描かれ、このことが実際のクー=クラックス=クランの活動を活発にさせたという説もある。

1927年から映画には音声を取り入れられるようになり、映画の表現は大きく前進した。世界恐慌がおこると、映画産業も打撃を受けたが、1930年代になると、再び映画の人気は高まっていった。1930年代には、「白雪姫」「オズの魔法使い」などアニメーションやミュージカルを取り入れた映画や、「フランケンシュタイン」などの怪奇映画、「風と共に去りぬ」や西部劇といったアメリカの歴史を描く映画など、様々な種類の映画がつけられた。

映画と政治

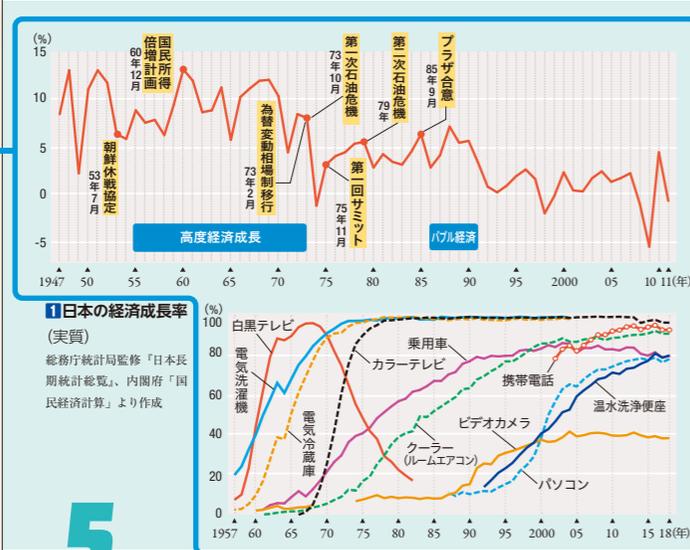
映画は、各国政府によってプロパガンダとして利用されることもあった。

ソ連では、1920年代にロシア革命を正当化する映画がつけられた。ドイツでは、ナチ党が法律で映画への検閲を強めるとともに、多くの宣伝映画をつくらせた。

日本でも、政府は映画を管轄下におこうとして、法律を定めた。戦時中には、多くの戦争映画がつけられ、観客は映画を通じて兵士への感謝や、戦争への協力をうながされた。アメリカやイギリスなどでも戦時中には高揚のための映画がつけられ、現代の映画にも登場するヒーローが、日本やドイツと戦う映画もあった。

テーマを通して本文の分量を統一し、図版などの資料や問いかけの点数も精選して、シンプルなレイアウトとしています。

グラフや地図はカラーユニバーサルデザインを取り入れています。



2 自動車の生産 自動車生産には新しい技術や組立てライン方式などが取り入れられた。
3 耐久消費財普及率 白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫は「三種の神器」、自家用車・カラーテレビ・クーラー(ルームエアコン)は3C(「新三種の神器」と呼ばれた。内閣府「消費動向調査」より作成

適宜2次元コードを配置し、動画を参照することでより深い学びを促します。

5 東京オリンピックの開会式 アジアで最初に開かれたオリンピックであった。



新幹線
NHK for School
「世界初の高速鉄道「東海道新幹線」」

5 高度経済成長の光と影

1950年代後半から1960年代、日本経済は急速に成長した。この時期、日本ではどのようなことがあったのだろうか？



4 生活の変化 たらいと洗濯板(上)を使っておこなわれていた洗濯は、電気洗濯機(下)を使用しておこなわれるようになった。
上：昭和のくらし博物館提供



電気洗濯機など耐久消費財の普及は、人々の生活に、どのような変化をおよぼしたのだろうか？

高度経済成長 岸信介内閣が総辞職したのち、1960(昭和35)年7月に池田勇人内閣が成立した。池田内閣は国民から幅広く支持を得るため、国民所得倍増計画を打ち出した。この政策は、1950年代後半から始まっていた**高度経済成長**をあお押しした。1955~73年の日本の年平均経済成長率は10%前後を維持し、68(昭和43)年に国民総生産(GNP)がアメリカにつぐ西側諸国第2位となった。高度経済成長を支えたのは、消費の拡大、関連企業の設備投資、企業どうしの競争などを背景とする設備投資の拡大である。大企業や中小企業では技術革新が進み、日本製品の品質が向上した。また、西アジアの産油国からの安価な原油により石炭から石油へのエネルギー源の転換が生じたこと、固定為替レートや品質の向上などにより輸出がのび、資源や食料の輸入をおこなえたこと、都市部に移動する若者の労働力を利用したこと、防衛費をおさえて経済成長に政府の資金を向けたことなどもあげられる。

大衆消費社会の誕生 高度経済成長は、国民の生活様式や意識を大きく変化した。1950年代後半には、「三種の神器」、その後、1960年代末以降には、3C(「新三種の神器」)が普及した。このような耐久消費財のほか、インスタント食品なども普及した。こうした消費生活における変化は流通面にも変化をもたらし、スーパーマーケ

ット、のちにはコンビニエンスストアなどが開店した。

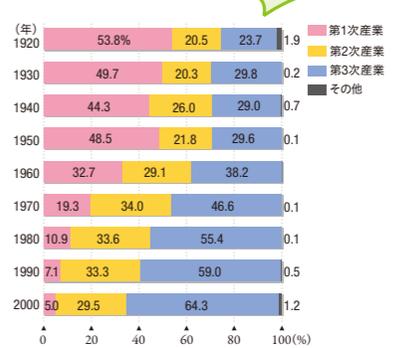
また、自動車の普及とともに高速道路網が整備された。鉄道の電化も進み、**東京オリンピック**が開かれた1964(昭和39)年には東海道新幹線が開通した。

所得面で貧富の差が縮小したことや、マスメディアの発達により、画一的な情報が社会にいきわたったことで生活様式が均質化すると、人々のあいだには中流意識が生まれた。

高度経済成長のひずみ 高度経済成長の一方で、国内では社会問題が発生した。太平洋側に製鉄所や石油化学コンビナートが建設され、重化学工業地帯(太平洋ベルト地帯)が形成されると、この地域に産業と人口が集中し、日本国内で地域間格差が生まれた。農村では大都市へ人口が流出して、過疎化が進行する一方、都市部では過密化が進行し、郊外に向けて無秩序な宅地開発がおこなわれ、核家族の住む集合住宅(団地)やニュータウンも建設された。

重化学工業の急速な発展や都市部の過密化は、生活環境を悪化させた。工場からの廃水や煤煙は、水質汚濁や大気汚染を引き起こした。水俣病などの深刻な**四大公害**も発生し、いずれの裁判でも企業や国に対して患者への賠償金の支払いを命じる判決が出された。都市部では自動車の増加もあって騒音や光化学スモッグの問題が発生し、公害に抗議する住民運動も活発になった。こうした動きを受け、政府は1967(昭和42)年に公害対策基本法を制定し、71(昭和46)年に環境庁(現、環境省)を設置して対策にあたった。

どのような変化が読み取れるだろうか？



6 産業別15歳以上就業者数の割合
三和良一・原朗編「近現代日本経済史要覧 補訂版」より作成

	熊本水俣病 (熊本県)	四日市ぜんそく (三重県)	イタイイタイ病 (富山県)	新潟水俣病 (新潟県)
症状	有機水銀中毒による神経障害	ぜんそく等の呼吸器疾患	骨軟化症と骨がもろくなる	有機水銀中毒による神経障害
原因	新日本窒素工場の排水	工場群からの排煙中の硫黄酸化物など	三井金属神岡鉱山からのカドミウム	昭和電工瀬田工場の排水
発症日	1969年6月14日	1967年9月1日	1968年3月9日	1967年6月12日
被害	新日本窒素	三愛油化など	三井金属鉱業	昭和電工
判決	原告側全面勝訴			

7 四大公害訴訟

福岡県での公害
NHK for School
「工業がもたらした環境問題」



山川出版社の

歴史総合トータルサポート

指導に、学習に、ICT教育に。
山川出版社は「歴史総合」をトータルサポートいたします。

▶ 教師用指導書 →p.18
授業実践編



山川&二宮ICTライブラリ

歴史総合デジタルテスト集
一問一答(仮)

山川&二宮ICTライブラリ
にてダウンロード販売

▶ 教師用指導書付属データ集 →p.22

▶ デジタル教科書 →p.26

▶ 山川&二宮ICTライブラリ →p.23

指導
先生用サポート



学習
生徒用サポート



授業用サポート
ICT教育



わたしたちの歴史 準拠ノート

▶ 準拠ノート →p.24

歴史総合 要点チェック

B5判 2色 72頁(予定)
価格未定

歴史総合 用語と解説集

四六判 2色 260頁(予定)
予価990円(10%税込)

歴史総合資料集

AB判 4色 56頁(予定)
価格未定

※書店店頭での販売は致しません。

地図&年表で整理 歴史総合

AB判 4色 40頁(予定)
価格未定

※書店店頭での販売は致しません。

歴史総合問題集(発売中)

B5判 2色 128頁+解答16頁
定価990円(10%税込)

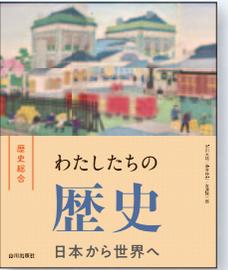


わたしたちの歴史 日本から世界へ 教師用指導書 授業実践編

歴総 709 準拠

B5判・390頁(予定)・2色刷・付属データ集DVD-ROM付

教科書に掲載している全ての図版と問いの解答例を掲載しています。単元ごとの授業の展開案や板書例、用語解説、参考文献に加え、教科書の内容+αの資料や発問例も盛り込んだ授業準備を全面サポートする充実の内容です。



要点整理は矢印や記号で相互関連性を示しており、板書やプリントの作成などにご活用頂けます。

本文で扱う事象や歴史用語について詳細な解説を付しました。

より深い授業が展開できるよう、教科書の内容+αの資料や発問例を紹介しています。

教科書に掲載の「テーマの問い」に基づいた授業の目標です。

「導入」「展開」「まとめ」ごとのタイムテーブルと観点別評価です。

1 18世紀の世界とアジア 教科書p.26~27

本時の目標
①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考える。
②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて理解させる。

導入案
■の地図から、当時のアジアに複数の大帝国有存在していたこと、その中でもインドから中国に至る地域がヨーロッパにさまざまな商品を提供していたことを確認する。地図から確認したことや■の図版から、当時のアジアの繁栄を想起させる。

授業展開案

	学習内容	学習活動	留意点(注)・評価(評)
導入 5分	■の地図をもとに、当時の世界的な物品の流れをつかむ。	●アジア諸地域で生産された世界商品がヨーロッパでどのように使用されていたかを考える。	注「歴史総合」では、大航海時代に関する事項やアジアの諸帝国についての詳細を扱えないので、適宜補足を加える。
展開A 15分	アジア諸地域で生産された世界商品を入手するためにヨーロッパ諸国が行ったことを理解する。 ヨーロッパ諸国のアジア進出が貿易から植民地獲得に移行する背景にアメリカ大陸の情勢の変化があったことを理解する。	●アジア産の世界商品がヨーロッパ内での消費にとどまらなかったことを本文から読み取る。 ●■の絵から、中国の陶磁器がヨーロッパの陶磁器産業に与えた影響を考える。 ●当時の清がヨーロッパ諸国に対して優位な立場にあったことを本文から読みとる。 ●アジアの植民地化が、当初から順調に進んだのではないことを本文から読みとる。 ●アメリカ大陸諸地域の独立がヨーロッパ諸国の対外政策に与えた影響を考える。	注教科書p.34の地図■と連動させても良い。 評◎アジア産の世界商品がヨーロッパでどのように扱われていたかを理解する。 評◎18世紀のヨーロッパ人の中国観について資料をもとに説明する。 注資料■を活用する際、概念用語については適宜解説を加える。 評◎大西洋三角貿易の構造を理解する。
展開B 20分	江戸幕府の「鎖国」が完全に外国との交流を断ち切ったものでないことを理解する。 「鎖国」後の日本における産業の発達とそれに伴い全国市場が形成されていく流れを理解する。	●江戸幕府が「鎖国」体制を形成する過程とその後の対外関係の特徴を本文から読みとる。 ●本文や■の地図で、江戸時代の対外関係の状況を読みとる。 ●江戸幕府による貿易統制が当時の日本の産業に与えた影響を本文から読みとる。 ●対外関係を制限していた時代に新田開発が進んだ理由について考える。 ●江戸時代には琉球と蝦夷地が日本に完全に組み込まれていなかったことを本文から読みとる。	注キリスト教の禁止や日本人の海外渡航や帰国の禁止などを扱う際には、当時のヨーロッパの情勢について適宜補足を加える。 評◎「鎖国」体制の形成過程を理解する。 注◎地図■から「鎖国」期の対外関係の特徴についてまとめさせる。 評◎貿易統制と産業発達の関係や全国市場の形成について説明する。 注◎琉球と蝦夷地については、「考えてみよう！琉球と蝦夷地」(教科書p.28~29)と連動させる。
まとめ 10分	本時の振り返り(テーマの問いを投げかける)。	●テーマの問いについて、考える。すぐに答えが出すことが難しい場合は、段階的に発問を用意して、生徒が答えやすいようにする。	評◎アジアの豊かさが、ヨーロッパ諸国の対外進出を拡大する大きな動機となり、このことがやがてアジア諸地域の植民地化につながったことを理解できている。

◎は知識・技能、◎は思考力・表現力・判断力、◎は主体的に学習に取り組む態度

要点整理(板書例、スライド例、プリント例)

豊かなアジアへのあこがれ

①18世紀のアジア
オスマン帝国・清などの帝国が栄える
インドから中国にかけての地域で世界商品を生産
→ヨーロッパへ輸出
*綿織物・茶・陶磁器など

②ヨーロッパの進出
東インド会社など特許会社の設立→アジア進出
一部を除き植民地化は困難

③清の繁栄
康熙帝の時代に始まる繁栄期
キリスト教布教の禁止や貿易の制限
宣教師 ヨーロッパの科学技術を中国に伝える
中国の政治体制や文化をヨーロッパに伝える
→互いに大きな影響

ヨーロッパ諸国の海外進出

①商品取引から植民地獲得へ
南北アメリカ大陸の植民地化
+アフリカ西海岸の奴隷貿易→大西洋三角貿易の成立
アメリカ合衆国の独立→新たな植民地の必要性

日本・琉球・蝦夷地

①鎖国
貿易と対外関係の制限
「四つの窓口」を通じた海外との交流

②国内経済の発達
世界商品(綿織物・茶・陶磁器・砂糖)の国産化
+新田開発による農業生産増→全国市場の形成

③琉球・蝦夷地
琉球 中国に形式的に服属/日本が実質的に支配
蝦夷地 先住民アイヌとの交易

歴史事象・歴史用語解説

インドの綿織物 綿(本来の用字は棉)は、アオイ科ワタ属の多年草からとれる繊維で、伸びにくく丈夫であり、吸湿性にすぐれるという性質を持つ。原産地はインドとアフリカといわれ、このうちインドでは、すでに前2000年紀には栽培と繊維としての利用がはじまっていた。古代より、インドの重要な産物として知られ、西アジア・ヨーロッパへは紀元前には伝わっていた。また、東南アジアで産出されるスパイスの対価として用いられていたともいわれている。17世紀末に東インド会社がインド産の綿布(更紗、キャラコ)を輸入すると、軽くて美しいインド綿布は熱烈に迎入れられた(いわゆる「キャラコ熱」)。またイギリス以外のヨーロッパ諸国でもインド綿布への需要が大きかった。しかし、イギリスで試作された綿布は厚手で、弱く、また染色も未熟であったため、インドの綿織物に太刀打ちできなかった。18世紀の初めから一連の技術革新がくりかえされ、ようやく18世紀の終わりから実用的な綿布(染染キャラコ)ができるようになった。

東インド会社 17世紀より19世紀にかけて、東インド・ヨーロッパ間の交易や、南アジア・東南アジアにおける植民地の経営を行った特許会社。ここでいう「東インド」とは、喜望峯以東、マゼラン海峡に至る全海域を指す。本来の目的は、「東インド」物産のヨーロッパへの輸入を独占し、高い利潤をあげることであったが、各国間の競争を勝ち抜くため、現地の伝統的政治権力と結び、政治的・軍事的支配権をも把握するようになった。そのため、東インド会社間の争いが植民地競争に発展し、本国の出先官庁のような性格を帯びるに至った。

イエズス会の中国布教 イエズス会は、1541年にイグナティウス・ロヨラがザビエルら同志6人とともにパリでを設立し、1540年に教皇パウルス3世の認許によって正式に発足した。会員は軍隊の訓練を受け、厳格な規律を守り、教皇を首長と仰いで旧教勢力の拡大、新教撲滅の信念を持って身を賭して布教に従事した。その熱心な布教は、ポルトガル、スペインの植民事業と並行して、アメリカやアジアにもカトリックが伝播された。アジアへの布教では、1549年日本に来航し九州・関西に布教したザビエル、中国に自然科学を伝えたマテオ・リッチらが有名である。中国では、ヨーロッパの科学や学問の紹介を行いながら中国の士大夫層の関心をひき、高官や宮廷に接近することにつとめ、布教の許可を得ることに成功した。また布教にあたっては、中国社会の風習をとり入れ、中国人信者の祖先崇拝や孔子を祭ることなどの伝統的儀礼を認めて布教の成果をあげた。

大西洋三角貿易と世界的な分業システム
ヨーロッパからアフリカへ火器や綿布・雑貨などで黒人奴隷と交換し、これをアメリカのプランテーションで砂糖と交換した。アメリカで奴隷を売却しほか、砂糖や棉花のような植民地物産を得てヨーロッパへ輸出し、砂糖や棉花の副産物である糖蜜や酒粕をヨーロッパへ輸出する。このようにして、世界各地の経済が結びつき、巨大な分業システムを構成することになった。提問インによれば、16世紀半ばのオランダにおいて、ヨーロッパ諸国の海外進出によって他国に拡大していった。それは、中核・半周遊・周辺

げた。しかし、その布教法は他派宣教師の敵視するところとなり、ローマ教皇への提訴となっていくゆる典拠問題をひきおこすことになった。したがって、中国におけるキリスト教布教は、イエズス会士と他派宣教師との教法をめぐる争いによって失敗をまたらしているのであり、かつその争いは中国皇帝とローマ教皇との対立へと発展したのである。

北アメリカ植民地と奴隷貿易 奴隷貿易は、16世紀末まではポルトガルが独占し、以後スペイン・オランダ・フランス・イギリスが割り込んだ。イギリスは1672年王立アフリカ会社が設立され、奴隷貿易を独占したが、98年この独占を廃止し、10%の課税と引き換えにイギリス国旗を立てたすべての船舶に開放した。黒人奴隷貿易の基地はイギリスではリヴァプール、ニューイングランドではロードアイランド州であった。植民地でタバコや米・藍の栽培が盛んになると、安い労働力として黒人奴隷の需要が増大した。植民地の労働力は、はじめは本国やアイルランドで土地を奪われた農民や都市の貧民らの年季奉公人であったが、年季があげられなくなり、労働力の固定化には不都合であった。それは、白人年季奉公人にかわって黒人奴隷を利用が今日の社会に残した影響は、労働人口を大量の経済発展が阻害されたことや現代でも根強くばかりではない。奴隷とする人を捕獲してヨーロッパの地域のアフリカ人諸王国で売りが、ただでさえ不安定な状況にあるアフリカに起こしかねない危険性を持っていることにも留意する。

30 第1部 近代化と私たち

先生・生徒の視点から導入や本文理解に活用できる参考文献を挙げました。

+α図版・資料

●**乾隆帝に謁見するマカートニー**
解説 1793年、輸出の拡大と貿易障壁の撤廃を目指してイギリスから派遣されたマカートニーが清の乾隆帝に謁見している様子をイギリス人が想像して描いたもの。
発問例 マカートニーと乾隆帝の表情の描き方には大きな違いが見られるが、描き手にはどのような意図があったと考えられるだろうか。
解答例 敬意を尽くすイギリスの使節に対する乾隆帝の傲慢な態度を強調している。

●**コンブラ蒸**
解説 「コンブラ蒸(煎茶)」とよばれる波佐見焼の染付白磁。17世紀半ばから輸出用につくられたものだが、藍には「JAPANSCHZOYA(日本の醬油)」とあるように、器そのものではなく中身の醬油が輸出品であった。
発問例 藍の中身は何だろうか。
解答例 日本で醸造した醬油。

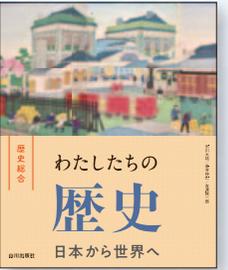
●**ポイント** 醬油は、日本の食卓に欠かせない調味料の一つであるが、一般に普及するのは江戸時代中期以降とされている。出島からの最初の輸出が1647(正保7)年、オランダ東インド会社が本国へ最初に持ち込んだのが1737(元文2)年とされているので、国内への普及と並行して輸出されていたと考えられる。18世紀のフランスで編纂された『百科全書』にも醬油について「…フランスには、オランダ人によってもたらされた。このソースは、すべての肉料理の風味を引き立たせ、…素晴らしい味をもたらす」との記述がある。ルイ14世の宮廷料理の隠し味として使われたというエピソードも残っている。なお、醬油を使い切った後の空き瓶は、一輪挿しなどに利用されることもあったとされている。

参考文献等(注)は教師用、(注)は生徒用

【一般書・専門書】
注 岡本隆司「中国の形成—現代への展望」(シリーズ中国の歴史③) 岩波書店 2020年
注 布留用正博「奴隷船の歴史」 岩波書店 2019年
注 田北悠「砂糖の世界史」 岩波書店 1996年
【漫画】
注 みなもと太郎「風雲児たち」 リイド社など
【映画】
注 おろしや国酔夢譚(日本) 1992年

32 第1部 近代化と私たち

※紙面は制作中のものです。



テーマの問いの解答例は準拠ノートの解答例に対応しています。

テーマの問い

【解答例】アジアの豊かさは、ヨーロッパ諸国の対外進出を拡大する大きな動機となった。ヨーロッパの進出は、やがてアジア諸地域の植民地化につながった。また、アジアの商品をヨーロッパでも生産しようとする動きもみられた。

【ポイント】18世紀のアジアでは、オスマン帝国や清といった大帝国の繁栄のもとで経済や文化が発達していた。一方、ヨーロッパでは、主権国家の形成が進んでいた。この過程で、ヨーロッパ内における勢力均衡が重要視されるようになると、自国の国力をのばすためには海外へ進出せざるをえない状況が生まれた。ヨーロッパ諸国の海外進出は、はじめ貿易が主な目的とされていたが、それはやがて進出した地域の植民地化へと変化していった。こうして、16世紀にアメリカ大陸の植民地化が進み、17世紀にはアジア諸地域も少しずつ植民地化の危機にさらされていった。

18世紀半ばの世界

【解説】この時点でアメリカ大陸は、ヨーロッパ諸国の植民地となっており、銀・砂糖・タバコなどの商品をヨーロッパに供給しており、これらの商品を生産するためにアフリカ大陸から奴隷が輸出されていた。アジアからも綿製品・茶・陶磁器などがヨーロッパにもたらされていたが、植民地化はインド沿岸部や島嶼部以外は進んでいなかった。アフリカ大陸は、アジアへの中継点とみなされ、沿岸部が植民地化されていった。

【発問例】この地図から読みとれるアジア・アフリカ・ヨーロッパの関係、ヨーロッパ・アフリカ・アメリカの関係は、それぞれどのようなものだろうか。
【解答例】アジアのうち、インドから中国にかけて地域では、綿製品・茶・陶磁器などがヨーロッパに輸出され、アフリカは貿易の中継点として沿岸部がヨーロッパの植民地となっている。ヨーロッパ、アフリカ・アメリカの間では大西洋三角貿易と呼ばれる体制が成立している。アメリカでは、アフリカから輸入した奴隷を使役し、ヨーロッパ向けの商品を生産させた。

中国の都市のぎわい

【解説】この絵は、1759年に清の宮廷画家である徐揚が描いた「盛世滋生図(姑苏繁華図)」で、現在、中華人民共和国の遼寧博物館に所蔵されている。長さ1,241センチ、高さ36.5センチの紙本着色の絵巻には、画家の出身地でもある蘇州の繁栄が描かれている。蘇州は、長江下流域に位置する都市。江南の運河網の結節点であったため、物流の中心地として栄えた。

【発問例】この絵には、なぜ多くの人々が描かれているのだろうか。

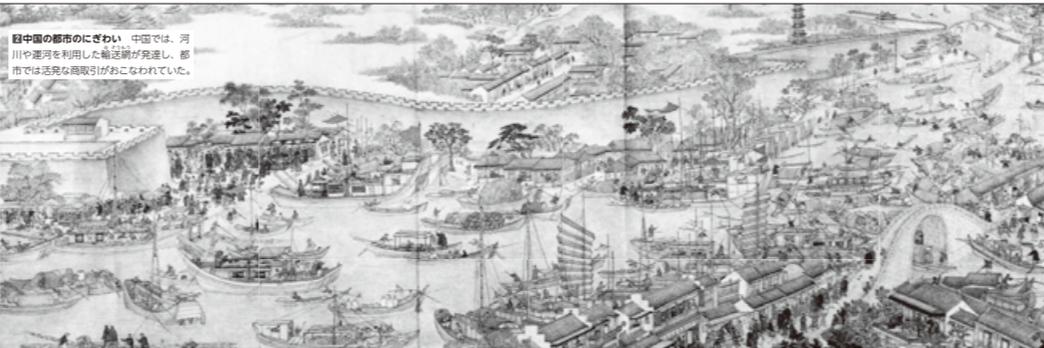
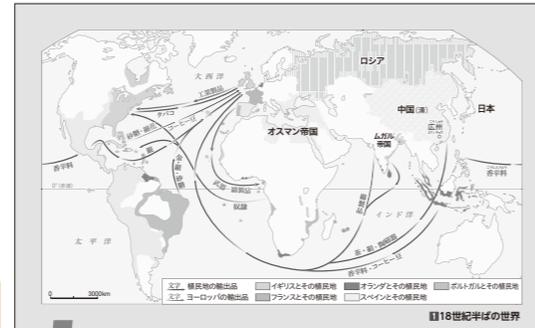
【解答例】物流の中心地である蘇州に多くの人々が取引に訪れていたから。

陶磁器の交流

【解説】中国陶磁器は、元末における染付の製作以降、絵付の技術が発達し明末には赤絵(五彩)とよばれる多色の彩磁(本図上)が盛んにつくられた。特に磁器は、ヨーロッパ世界において大変珍重され、ヨーロッパではこれを国産化する努力を重ねられた。その結果、18世紀初頭のドイツで硬質磁器の製造に成功した。これがマイセン磁器(本図下)である。マイセンやハンガリーのヘレンドなどでつくられる磁器は、中国風の絵柄を模倣するところからはじまり、その伝統は今日なお続いている。一方、中国では、清の康熙年間ヨーロッパの七宝の技法を応用した粉彩と呼ばれる技法が生まれた。この技法により微妙な色彩表現が可能となったことから、西洋画風の絵付けをした磁器(本図中)も生産され、ヨーロッパへの輸出に供した。

【Q解答例】中国は、ヨーロッパでの需要の高まりに応じて、ヨーロッパ風のデザインの陶磁器を生産した。ヨーロッパでは、中国と同じ品質の陶磁器を作る目的で技術が向上し、ドイツのマイセン焼などが生まれた。

【ポイント】中段は、清の乾隆年間につくられた「珐瑯彩人物図連瓶」(水青文庫蔵)で、描かれているのは、「パリスの審判」という西洋絵画でよく用いられる主題。このことから、ヨーロッパへの輸出を強く意識したものであると推測できる。一方、下段のマイセン磁器の絵付が中国風の花鳥図であることは、ヨーロッパの磁器製作が中国磁器の模倣から始まったということを推測できる。



中国の都市のぎわい 中国では、河川や運河を利用した輸送網が発達し、都市では活発な商取引がおこなわれていた。

18世紀の世界とアジア



陶磁器の交流 上から、中国の景徳鎮でつくられた陶磁器、西洋風の絵付けがほどこされた中国の陶磁器、ドイツのマイセン焼。上：五島美術館蔵

18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？

【豊かなアジアへのあこがれ】18世紀のアジアでは、西から順にオスマン帝国・ムガル帝国・清などが栄え、経済や文化が発達していた。とくにインドから中国にかけての地域は、綿織物・茶・陶磁器などの世界商品を生産していた。このうち、インド産の綿織物はヨーロッパで使われるだけでなく、アフリカで奴隷貿易の対価としても用いられる重要な商品であった。また、中国産の茶を陶磁器で飲む習慣は、当時のイギリスで上・中流階級のみならず広がっていた。

これらの商品を手に入れるために、ヨーロッパ諸国は、東インド会社という特許会社を設立するなどして、アジアへ進出したが、東南アジア島嶼部やインド沿岸部を除くと、植民地にするのは容易ではなかった。とくに清は、17世紀後半に即位した康熙帝以来、3代約130年にわたる繁栄の時代にあり、ヨーロッパ諸国に対してキリスト教布教の禁止や貿易の統制をおこなっていた。中国に渡った宣教師らの報告を通じて、ヨーロッパにもたらされた中国の政治体制や文化は、ヨーロッパの思想家に大きな影響を与えた。

【ヨーロッパ諸国の海外進出】ヨーロッパ諸国は、16世紀頃から商品を取引するため、海外へ進出をはじめ、たがいに植民地獲得競争を繰り返した。その結果、18世紀に入る頃までには南北アメリカ大陸が植民地化された。また、アフリカ西海岸に拠点を設けた奴

江戸時代の対外交渉

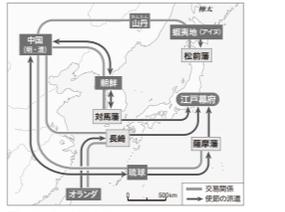
【解説】江戸幕府は、地図1に示した長崎・薩摩・対馬・松前という四つの窓口を通じて対外関係を維持していた。日本史学会で「四つの窓口」という概念が提起されたのは、1980年代のことであったが、幕臣として蝦夷地問題にかかわった近藤重蔵が、「我邦異国と通路の場所、長崎・薩摩・対馬・松前 四ヶ所ニ限り候事」(『大日本近世史料 近藤重蔵蝦夷地関係史料』1巻、東京大学出版会)と記していることから、江戸時代にもこうした認識があったと考えられる。これらのうち最も重要な位置にあったのは、幕府直轄の長崎で、中国とオランダとの通商関係を担う窓口であった。同時に、幕府直轄の外交交渉が行われる所として国内外ともに認識されていた。対馬は、対馬藩主宗氏を介して朝鮮との関係を担う窓口であった。朝鮮通信使が日本に來航する一方、対馬藩は朝鮮の釜山に中世以来倭館を維持し、数百人の日本人が滞在して、朝鮮との貿易を行っていた。薩摩は、島津氏を通じて琉球との関係を担う窓口であった。琉球は中国にも服属する「兩属」の関係にあったため、幕府は間接的に中国との関係をも維持したといえる。そして、松前は松前氏を通じて蝦夷地との関係があった。ただし、長崎・対馬・薩摩の場合、その背景には国家である朝鮮や清、国家に準ずる組織であったオランダ東インド会社との関係があったが、蝦夷地の場合、「無主の地」と国家を形成していない場所とされ、他の三つの口とは様相が異なることが重要となる。もちろん、アイヌはさらに満洲方面の諸民族とも交流があり、結果的に蝦夷地と呼ばれる中国が北方民族との交流に用いた産物などが、アイヌ交易を通じてさらに日本へもたらされることがあった。また18世紀後半になると、ロシア人が南下するにおよび、蝦夷地は日本の領土として「内国化」される過程を遂げていった。

隷貿易もおこなわれ、大西洋三角貿易と呼ばれる体制が成立した。ヨーロッパ諸国の競争は、18世紀後半にイギリスの勝利で終わった。しかし、1783年にアメリカ合衆国がイギリスから独立し、その影響を受けて、19世紀前半にはラテンアメリカ諸地域も独立を達成した。そのため、ヨーロッパ諸国は、新たな進出先を求める必要にせまられていた。

【日本・琉球・蝦夷地】1603(慶長8)年に成立した江戸幕府は、17世紀半ばまでにキリスト教を禁じ、日本人の海外渡航や海外に居住する日本人の帰国も禁じた。さらに、オランダを除くヨーロッパ船の來航を禁止して貿易を統制した。こうした状態は、のちに「鎖国」と呼ばれた。しかし、幕府はいわゆる「四つの窓口」を通じて海外との交流を続けており、その情報をもとに同時代の国際情勢を把握した。幕府が貿易を統制すると、それまで輸入品であった綿織物・茶・陶磁器・砂糖などは日本国内で生産されるようになった。また、新田開発などによって農業生産ものびた。これらを背景に、日本では江戸・天保・京都の三都が生まれ、三都を中心に全国市場も形成された。

15世紀に成立した琉球王国は、明・清の冊封国としての立場をとり、中継貿易で栄えていた。しかし、17世紀に薩摩藩の侵襲を受けてからは、中国に形式的に服属しながらも、日本の支配を実質的に受けるようになった。

【蝦夷地(現在の北海道)は、まだ日本の領域としては把握されていなかった。蝦夷地南端の松前をおさめていた大名は、先住民のアイヌとの交易を通じて蝦夷地の物産や中国東北地方の物産を手に入れた。



江戸時代の対外交渉 江戸時代の日本は、長崎・対馬・薩摩・松前を窓口として、海外と交易をおこなった。また日本は、清と正式な国交をもたなかったが、長崎で中国の商人との取引を許したほか、オランダ・琉球・朝鮮を通じて交易をおこなった。

18世紀のヨーロッパ人の中国観

中国の政治に対して批判的な意見がヨーロッパではかなり広く存在するのだが、私は逆に、中国旅行記などによって、その政体は賢明で明確な法律にもとづいていて、その法を厳格に遵守させるとともに、皇帝自身も遵守していると理解するに至った。(ケネー「中国の政治制度」大野実郎「東洋の歴史」)

ケネーは、当時の中国(清)を、どのようにみていたのだろうか？

【発問例】江戸時代の日本と関係を持っていた国は、どこだろうか。これらの国は、日本のどの地方にも来ることが出来たのだろうか。
【解答例】オランダ・中国(清)・琉球・朝鮮との関係を持っていた。これらの国は、国によって長崎・薩摩・対馬といったように来ることが出来る場所が限定されていた。

【ポイント】江戸時代の鎖国が、対外関係を一切遮断したものではない点を確実に抑えておく必要がある。教科書p.32に記した清の海禁と関連付けて扱うことも一つの方法であろう。また、四つの窓口を扱う際には、それぞれの窓口と関係のあった国名の組合せだけでなく、それぞれの窓口の果たした役割について教員が適宜補足することで、学習が深まることが期待できる。補足する内容としては、直轄領長崎が対外関係全般の窓口としての中心的機能を果たす一方で、長崎以外の窓口では、対馬の宗氏・薩摩の島津氏・松前の松前氏が、その実務を担当し、異国に対する軍事的「押さえ」としての軍役を担って幕府に奉公するという構図があったこと。幕府は、四つの窓口を通じて、日本を中心とした秩序を可視的な形で表現しようとしたという2点が重要で、後者については、朝鮮からの通信使、琉球からの謝恩使と慶賀使、オランダ館館長の江戸参府などの図版を用いることも考えられる。

18世紀のヨーロッパ人の中国観

【解説】中国で布教を行った宣教師たちによってヨーロッパに伝えられた儒教・科学など中国の思想・制度や造園術などの文化は、ヨーロッパ人に中国に対する興味を呼び起こした。朱子学の理論的な学説は、宗教の神秘主義から逃れようとしていたヨーロッパの哲学者に歓迎され、ドイツのライプニッツの哲学に影響を与えた。18世紀の啓蒙思想家の間では、ヴォルテールが中国の儒教に基づく政治体制を賛美し、モンテスキューが中国の専制政治を批判したように、中国と比較してヨーロッパの国家体制の優劣が論じられた。また、ケネーの重農主義にも中国古来の農本思想が影響をおよぼしているといわれる。芸術の上でも18世紀のヨーロッパ宮廷ではシノワズリ(中国趣味)が流行し、中国の工芸品の収集も熱心に行われた。

【Q解答例】国や政治の体制が法律によって明確に規定されており、皇帝自身も法律に従っている点は、同じ専制政治でもヨーロッパとは異なるのではないかとみていた。

【ポイント】ヨーロッパが単純に中国の制度・文化を賛美しているわけではないことに留意する。モンテスキューらの批判的な評価を補足資料として提示して生徒に比較させると良いかも知れない。一方、宣教師らによって中国にもたらされた西洋のヨーロッパの科学技術が中国に与えた影響についても適宜補足し、双方向的な関係を生徒に気付かせたい。

図版の解説や教科書に掲載されている問いの解答例、指導の際のポイントを示しています。教科書の執筆者が記述しています。

※紙面は制作中のものです。

わたしたちの歴史 日本から世界へ 教師用指導書 付属データ集

教師用指導書には付属データ集（DVD-ROM）をセットでご提供いたします。
先生方の授業準備やテスト問題の作成に、ぜひご活用ください。

付属データ集（DVD-ROM）収録予定コンテンツ一覧

- ① 教科書紙面データ
- ② 教師用指導書紙面データ
- ③ 授業用スライド&ワークシート
- ④ 準拠テスト例

③ 授業用スライド

PowerPoint（電子黒板・プロジェクター用）

- 教科書の単元ごとに構成
- 要点を整理し、学習のポイントを明示
- 授業スタイルにあわせてアレンジが可能

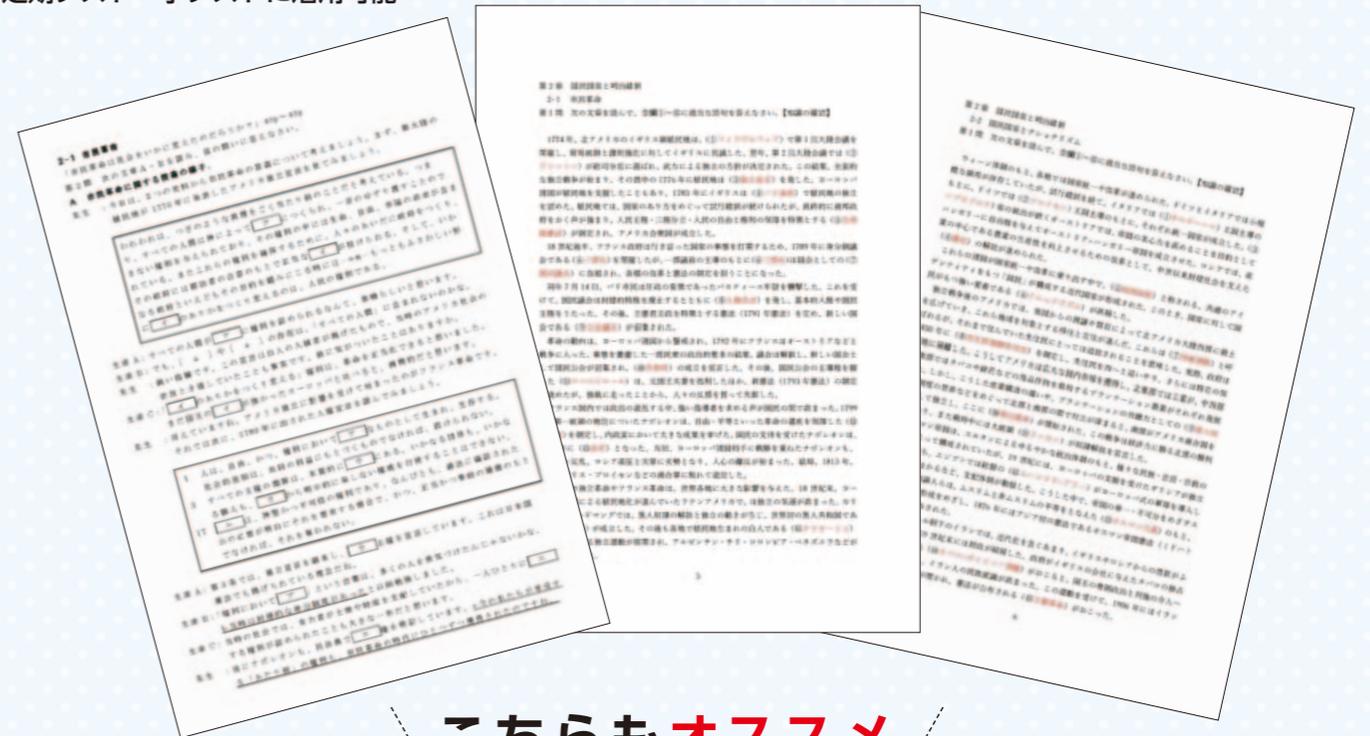


※制作につき、内容や体裁は変更になる場合がございます。

④ 準拠テスト例

Word

- 教科書の単元ごとに作問
- さまざまなパターンの出題形式
- 定期テスト・小テストに活用可能



こちらもオススメ

山川 & 二宮ICTライブラリ

2021年3月1日サービス開始

歴史・地理・公民の教育コンテンツをオンラインで提供するための新しいサービスです。
歴史総合/地理総合に対応したコンテンツを2021年秋より追加予定です。
歴史の山川出版社と地理の二宮書店が、ICTを活用した授業をサポートいたします。



授業準備の時間短縮に

プリントや試験問題の作成に

ICT教育を促進

オンライン授業にも対応

アクセスはこちらから/
<https://ywl.jp/service>



法人向け定額制コース ￥77,000/年（10%税込）

個人向け定額制コース ￥1,320/月（10%税込）

サービスについてのお問い合わせは①学校名 ②先生名 ③お電話番号 ④メールアドレスを明記の上、
右記サイトの〈サービスについてのお問い合わせ〉からご連絡ください。

わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート 歴総 709 準拠

B5判・144頁・4色刷



ノートをご採用いただきますと、解答入りのPDFデータをサービスでおつけいたします。



本文

13

帝国主義

▶教科書 p.56~57

①~⑭に入る語句を答えよう。

第2次産業革命と帝国主義

- 欧米諸国は、19世紀中頃から(①)や電力を新しい動力源とするようになり、技術の革新によって(②)部門を発展させた。
- (②)が発展するには高度な技術と巨大な(③)を必要とするため、企業は(④)との関係を深めた。また、植民地は、(⑤)としても重要性が高まった。
- 列強は、非ヨーロッパ世界への進出を強化し、世界を自国の植民地・勢力圏として分割していった。このような動きを(⑥)という。
- 世界分割が進む過程で、20世紀初頭には、イギリス・フランス・ロシアによる(⑦)とドイツ・オーストリア・イタリアによる(⑧)が形成され、両者は対立するようになった。

アフリカと太平洋海域

- (⑥)の時代に世界分割のおもな対象となった地域は、アフリカと太平洋海域であった。
- アフリカでは、1884~85年に開催された(⑨)以降、急速に分割が進んだ。太平洋海域では、イギリスが(⑩)やニューゼーランドで先住民を迫害しつつ開拓を進めた。また、アメリカ合衆国は、1898年に(⑪)を併合した。

中国における利権争い

- 日清戦争後、列強は利権獲得のために中国に進出した。ロシアは清から(⑫)の敷設権を獲得し、1898年には遼東半島南部に位置する(⑬)の両都市を租借した。またドイツも山東半島の(⑭)を租借した。
- 清では、日本の明治維新にならって政治の近代化をはかろうとする(⑮)が試みられたが、反対勢力のクーデタにより失敗した。
- 列強の進出は、人々の排外感情を高めた。「(⑯)」をとえたる(⑰)は、1900年に北京に入り外国公使館を包囲し、清もこれを利用して列強を排除しようとした。
- (⑰)の鎮圧後、列強は中国への干渉をいっそう強めた。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	

テーマの問いを考えよう

テーマの問いについて、順を追って考えていきます。

テーマの問いを考えよう

テーマの問い 帝国主義の時代、列強は様々な地域を植民地とした。この過程で欧米諸国の関係は、どのように変化したのだろうか？

問1 第2次産業革命によって、列強が非ヨーロッパ世界への進出を強化したのはなぜだろうか。

①()部門を発展させるための②()や商品の市場を確保することに加え、欧米諸国が1870年代に深刻な不況となったことで、植民地を重要な③()とみなすようになったため。

問2 世界分割の過程で、列強諸国の関係はどのように再編されていったのだろうか。

世界分割が進む過程で、20世紀初頭には、イギリス・フランス・ロシアによる①()とドイツ・オーストリア・イタリアによる②()という2つの同盟関係が形成された。

問1~2をもとにテーマの問いを考えてみよう。

地図で確認しよう

問1 アフリカの分割が急速に進む結果をもたらした国際会議で、問題とされた地域はどこだろうか。つきから1つ選ぼう。

- ア 南アフリカ
- イ マダガスカル
- ウ エチオピア
- エ コンゴ

問2 アフリカ諸地域に現在の地図でもみられるような不自然に直線的な境界線が引かれているのはなぜだろうか。



※紙面は制作中のものです。

教科書の内容を短い文章でまとめています。各テーマの基本的な用語を確認します。

地図(資料・図・表・グラフ)で確認しよう

教科書に載っている地図などを読み取り、基本的な事項をおさえます。テーマの問いに関連して配置されている場合もあります。

()に当てはまる選択肢や語句、文章を考えます。

教科書の図版番号に対応しています。

近代化への問い① 交通と貿易

(A)~(E)に当てはまる選択肢や言葉は何だろう？

新しい交通機関の発明

1 (蒸気機関車)の発明は、蒸気機関を利用した新しい交通機関ですね。

2 (蒸気機関車関係の資料)によると、鉄道によって商品の輸送費が(A: 高くなった / 安くなった)ことがわかります。

ということは、鉄道は(B:)にも活用されたと考えられますね。

日本における新しい交通機関の発達

1 (日本における交通機関の発達)をみると、日本でも(C: 明治維新 / 第一次世界大戦 / 第二次世界大戦)以降、新しい交通機関が普及していきまね。

最初の国際航路がインドへの航路となったのは、なぜでしょう？

この頃のインドは、(D: 綿花 / 生糸 / アヘン / 茶)の生産地として知られていました。

欧米への航路は、日本で生産された(E: 綿花 / 生糸 / アヘン / 茶)の輸出のために開かれたのでしょうか？

このページで気づいたこと、もっと知りたいと思ったことを疑問のかたちでまとめてみよう。

8 第1部 近代化と私たち

教科書のQに対応しています。

いまの私たちに つながる課題

- 近代化への問い
- 国際秩序の変化や大衆化への問い
- グローバル化への問い

教科書の図版番号に対応しています。

いまの私たちに つながる課題 自由・制限

どっちがお得？ 自由貿易と保護貿易

▶教科書 p.60~61

Q1 (自由貿易と保護貿易の違い)から、自由貿易を選ぶ国と保護貿易を選ぶ国には、どのような違いがあるといえるだろうか？

Q2 ①1円でも安い商品を買いたい人にとって、自由貿易はどのような意味をもつだろうか？
②他国より優れた製品の開発を進めている人や国にとって、保護貿易はどのような意味をもつだろうか？

① _____

② _____

Q3 ①イギリスは、清からおもに何を輸入していたのだろうか？
②イギリスは、清へ何を輸出したかったのだろうか？
③イギリスは、清に対してどのようなことを求めたのだろうか？
④清は、なぜイギリスの要求を受け入れなかったのだろうか？
⑤交渉に失敗したあと、イギリスはどのような手段で貿易の損失をおさなおうとしたのだろうか？

① _____

② _____

③ _____

④ _____

⑤ _____

42 第1部 近代化と私たち

わたしたちの歴史 指導者用デジタル教科書 (教材)

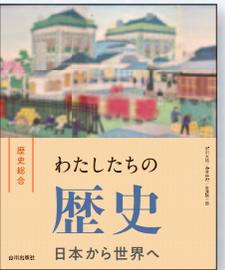
歴総 709 準拠

電子黒板やプロジェクター等でご利用いただく、指導者用のデジタル教科書 (教材) です。学習者用と共通の専用ビューアは直感的に使いやすく、授業に便利な機能も充実しています。生徒の手元にある教科書と同じ紙面を大きな画面で投影しながら、紙面への書き込み、写真や地図・図表・グラフの拡大、動画再生などをご活用いただくことで、歴史総合の授業の幅が広がります。

体験版をぜひお試しください！
(2021年5月公開予定)

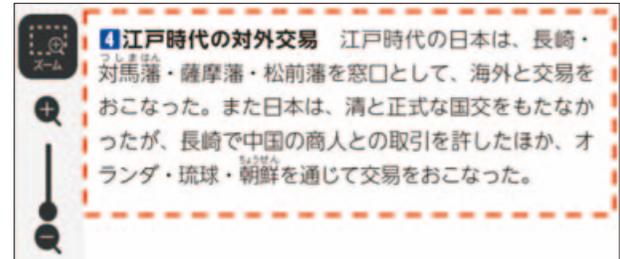
対応ブラウザ

Google Chrome、
Microsoft Edge、Safari



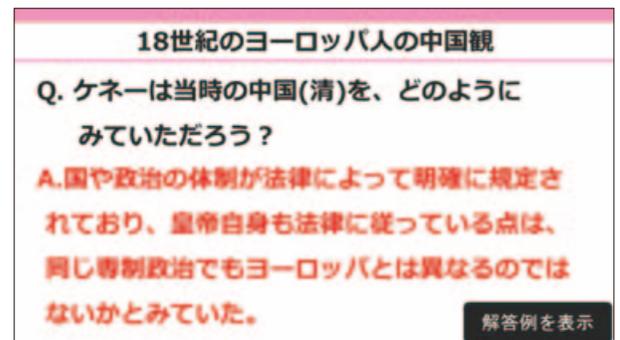
便利な機能① ズーム表示

紙面の一部を範囲指定して画面に拡大表示することができます。



便利な機能② Q&A

紙面の発問をクリックすることで、紙の教科書には載っていない解答例を表示することができます。(解答例の表示/非表示の切替が可能です)



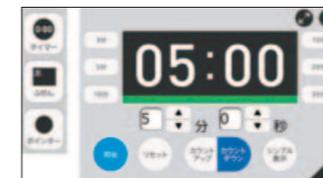
便利な機能③ 図版の拡大表示

紙面の写真・図表をクリックすることで、画面に拡大表示できます。拡大した写真・図表へ書き込みをして、注目すべきポイントをわかりやすく示すことが可能です。



便利な機能④ 道具

タイマー (ストップウォッチ)、ふせん、めくり紙、ポインターなど、教室での授業のために用意されたさまざまな「道具」のアプリケーションが利用できます。生徒同士の話し合いの時間をとる場合にはタイマーを画面中央に大きく表示しておくことが可能です。



便利な機能⑤ 動画再生

オンライン環境でのご利用の際は、アイコンをクリックすることで、NHK for Schoolなどの動画コンテンツ再生ページへの画面遷移が可能です。



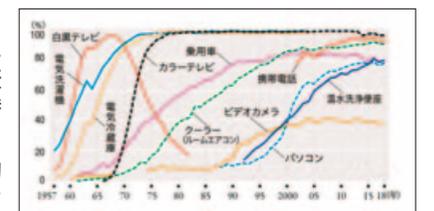
便利な機能⑥ 地図アプリ

拡大表示した地図では、色のついた領域・国名や地名・矢印などの図形は、それぞれ表示/非表示の切替が可能です。授業で特に見せたい要素だけを地図に示して、説明することができます。



便利な機能⑦ グラフアプリ

拡大表示したグラフでは、それぞれのデータ系列の表示/非表示の切替が可能です。特定のデータの動きに注目してシンプルなグラフを表示することもできます。



わたしたちの歴史 学習者用デジタル教科書 歴総 709 準拠

学習者用の端末でご利用いただく生徒用のデジタル教科書です。(1ユーザー1ライセンス)

指導者用と共通の専用ビューアは直感的に使いやすく、スムーズなページ遷移、紙面の拡大表示、紙の教科書を使用しているかのような書き込みが可能です。書き込んだ情報はユーザー個人ごとに保存することができます。



デジタル教科書ビューアの機能

便利な機能①

ペン＆マーカー／消しゴム

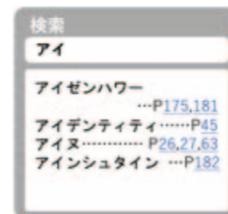
「色」「太さ」「透明度」の設定は自由に変更可能。よく使う設定を保存することもできます。「消しゴム」機能で書き直しもスピーディーに。



便利な機能②

ページ遷移／用語検索

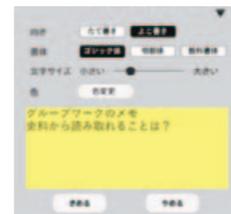
通常のページ送り、ページ数を直接入力することによるジャンプの他に、用語検索機能で掲載ページをすぐに表示することもできます。



便利な機能③

ふせん

ふせんを紙面に貼り付けて書き込みをすることができます。ふせんは小さく重ねておくこともできるため、紙面の閲覧の邪魔になりません。



体験版をぜひお試しください！
(2021年5月公開予定)

対応ブラウザ Google Chrome、
Microsoft Edge、Safari



デジタル教科書 (指導者用・学習者用) 商品概要

●デジタル教科書の基盤システムについて

デジタル教科書の提供・表示ビューアの基盤となるシステムとして「みらいスクールプラットフォーム」(<https://www.mirai-school.jp/platform/>)を採用しています。専用のビューアはiPad、Chromebook、Windows PCの各端末に対応。学校のオンライン環境に合わせて配信・提供方法をお選びいただけます。



●ライセンス体系／動作環境／提供方法／おもな機能について

	指導者用デジタル教科書 (教材)	学習者用デジタル教科書
ライセンス体系	学校内フリーライセンス ご購入いただくことで、学校内の指導者用端末で何台でもご利用が可能です。ライセンスは原則として年度ごと(4月～翌3月)の更新となります。	1ユーザー1ライセンス 必要な人数分のライセンスをご購入いただき、学習者用端末でご利用ください。紙の教科書のご利用期間中はライセンスが有効となります。
利用者端末動作環境	動作保証環境 <ul style="list-style-type: none"> ●iPad OS※ ブラウザ：Safari ●Chrome OS※ ブラウザ：Google Chrome ●Windows 8.1/10 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome ※iPad OS・Chrome OSはクラウド版、学校内サーバー版のみご利用可能。DVD版ではご利用いただけません。	
提供方法	▼クラウド版 (オンライン配信) 各利用者端末のブラウザから当社指定のクラウドサーバーにアクセスしてご利用ください。各端末へのインストールは不要ですが、ご利用の際にはオンライン環境が必要です。 ▼学校内サーバー版 学校・教育委員会等に設置されているサーバーにインストールし(インストール用のDVD-ROMを納品いたします)、各利用者端末から校内設置サーバーにアクセスしてご利用ください。 ▼DVD版 (スタンドアロン) DVD-ROMを各利用者端末に直接インストールしてご利用ください。インストール後はオフライン環境での利用が可能です。(DVD版はWindowsのみ対応となります)	
ビューアのおもな機能	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル紙面の閲覧、拡大表示、ページ送り、用語検索 ●ペン、マーカー、スタンプ、消しゴムを利用した書き込み／削除 ●編集した紙面データをユーザーごとに保存 ●しおり、ふせん、タイマー (ストップウォッチ)、ポインター ●外部リンクへのアクセス (紙の教科書の2次元コードに対応) 	

・紙の教科書をご採用いただいた場合に限り、対応する「指導者用デジタル教科書」「学習者用デジタル教科書」のライセンスをご購入いただくことが可能です。
 ・本資料のデジタル教科書の画面イメージ・記載内容は開発中の情報を含むため、製品版において変更になる場合があります。

著作者

(2021年3月現在・五十音順)

山川出版社の
「歴史総合」
教科書一覧



歴史総合 近代から現代へ

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識
- 歴史の着眼点となる問いを設定



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習
- 深い学び、考える授業の実現
- グループワークに最適！ 様々な問いを設定



わたしたちの歴史 日本から世界へ

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ
- 現場目線の楽しい工夫
- 身近な歴史から世界をみる

小豆畑 和之 (あずはた かずゆき)

東京都立西高等学校教諭

世界史教育
● 歴史総合



小田中 直樹 (おだなか なおき)

東北大学教授

フランス社会経済史
● 現代の歴史総合



澤野 理 (さわの おさむ)

神奈川県立逗子高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



津野 雄彦 (つの たけひこ)

東京都立戸山高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



野崎 雅秀 (のざき まさひで)

東京大学教育学部附属中等教育学校教諭

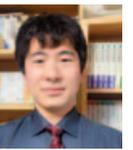
日本史教育
● 歴史総合



丸山 優介 (まるやま ゆうすけ)

東京都立翔陽高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



荒木 圭子 (あらかぎ けいこ)

東海大学准教授

アフリカ史
● 現代の歴史総合



勝田 俊輔 (かつた しゅんすけ)

東京大学教授

アイルランド近代史
● 歴史総合



塩出 浩之 (しおで ひろゆき)

京都大学准教授

日本近現代史・政治史
● 現代の歴史総合



津野田 興一 (つのだ こういち)

東京都立日比谷高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



福本 淳 (ふくもと じゅん)

栄光学園中学高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



守川 知子 (もりかわ ともこ)

東京大学准教授

西アジア史
● 現代の歴史総合
● わたしたちの歴史



池田 嘉郎 (いけだ よしろう)

東京大学准教授

ロシア近現代史
● 歴史総合



仮屋園 巖 (かりやその いわお)

東京都立国立高等学校教諭

世界史教育
● 歴史総合



島田 竜登 (しまだ りゅうと)

東京大学准教授

南アジア史・東南アジア史
● 歴史総合
● 現代の歴史総合



長井 伸仁 (ながい のぶひと)

東京大学准教授

フランス近代史
● わたしたちの歴史



藤本 和哉 (ふじもと かずや)

筑波大学附属高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



安田 智昭 (やすだ ともあき)

三輪田学園中学校・高等学校教諭

日本史教育
● わたしたちの歴史



板垣 暁 (いたがき あきら)

北海学園大学教諭

日本経済史
● わたしたちの歴史



岸本 美緒 (きしもと みお)

お茶の水女子大学名誉教授

中国明清史
● 歴史総合



島津 聡 (しまつ さとし)

東京都立八王子東高等学校教諭

日本史教育
● 現代の歴史総合



中家 健 (なかいえ たけし)

東京都立小石川中等教育学校教諭

日本史教育
● 歴史総合



古川 隆久 (ふるかわ たかひさ)

日本大学教諭

日本近代・現代史
● 歴史総合



山川 志保 (やまかわ しほ)

お茶の水女子大学附属高等学校教諭

世界史教育
● 現代の歴史総合



市川 大祐 (いちかわ だいすけ)

北海学園大学教諭

日本経済史
● わたしたちの歴史



久保 文明 (くぼ ふみあき)

東京大学教授

アメリカ政治史
● 現代の歴史総合



鈴木 淳 (すずき じゅん)

東京大学教諭

日本近代史
● 歴史総合



中村 尚史 (なかむら なおふみ)

東京大学教諭

日本近代史・経済史
● 現代の歴史総合



牧原 成征 (まきはら せいゆき)

東京大学准教授

日本近世史
● 歴史総合



吉澤 誠一郎 (よしざわ せいいちろう)

東京大学教諭

中国近代史
● 現代の歴史総合
● わたしたちの歴史



老川 慶喜 (おいかわ よしのぶ)

立教大学名誉教授

日本近代・現代史
● 歴史総合



小松 久男 (こまつ ひさお)

東京大学名誉教授

中央アジア近現代史
● 歴史総合



高橋 哲 (たかはし あきら)

渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭

日本史教育
● 現代の歴史総合



中山 拓憲 (なかやま たくのり)

神奈川県立湘南高等学校教諭

世界史教育
● わたしたちの歴史



松本 英治 (まつもと えいじ)

開成中学校・高等学校教諭

日本史教育
● 歴史総合



渡邊 宏明 (わたなべ ひろあき)

浅野中学校・高等学校教諭

日本近代史
● わたしたちの歴史



令和4年度用「歴史総合」教科書

歴史総合 近代から現代へ

探究につながる詳しい記述

- 歴史の流れを詳述、信頼できる内容
- 日本史探究・世界史探究とのつながりを意識
- 歴史の着眼点となる問いを設定

- 254ページ
- 写真283点
- 地図73点
- グラフ・図表112点
- 文字資料55点
- 2次元コード19点



現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

深める歴史 テーマ・資料・問いで考える

- 社会の特質や構造を捉える44のテーマ学習
- 深い学び 考える授業の実現
- グループワークに最適！ 様々な問いを設定

- 262ページ
- 写真555点
- 地図112点
- グラフ・図表178点
- 文字資料177点
- 2次元コード16点



わたしたちの歴史 日本から世界へ

見開き47テーマ ビジュアルで楽しく学ぶ

- 厳選された見開き2ページ完結の47テーマ
- 現場目線の楽しい工夫
- 身近な歴史から世界をみる

- 182ページ
- 写真301点
- 地図87点
- グラフ・図表100点
- 文字資料54点
- 2次元コード10点



小社ホームページでもご案内いたしております。
歴史総合教科書の紹介動画もございますので、ぜひご覧ください。

山川HP
歴史総合
特設サイト



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469

<https://www.yamakawa.co.jp/>